

# 水産物の有効利用をめざして

留萌市では、東雲町一丁目水産加工団地内に、地域の特性を生かした水産加工品の開発をめざして、水産加工総合管理センターを建設しました。

このセンターは、鉄骨一部二階建てで昨年十月から建設に取りかかり、いよいよ今月一日からオープンします。

基幹産業である水産加工の安定化と特産品開発にと、将来に向けての大きな希望と期待がこめられています。

## 留萌市水産加工総合 管理センターが完成 し業務の一部を水産 物加工共同組合に委 託しました



### 完成によせて

▼会議室 2階



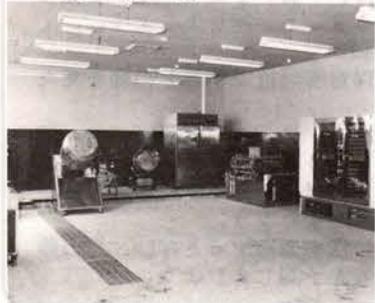
▼展示品棚



▼試験分析室



▼実習室



水産加工の町留萌に、このようなセンターができた事は、関係行政と業界の長期の努力であり敬意を表します。

最近、食生活も豊かになったことに伴い、消費者知識も普及しなかでも加工食品に対する感心が高くなっています。

市内の方で、他市から名産品を買ってきたが、いやな臭いがある色がついて、油やけしているなどの苦情が寄せられることもありま

す。

名産品に乏しい留萌市として、この施設を有効に活用し、安心してお勧めできる地場産品の開発と普及改善を期待します。

#### 地場名産の開発を



留萌消費者協会  
会長  
児玉 文さん

総合管理センターが、行政、並びに市民の理解によって建設されたことは、今後の水産業界にとって大変意義深いものと感謝します。

また、この施設の運営を私どもも協同組合で行うことになり、あらためて責任を感じています。

水産業界は、二百カイリ問題以来種々の困難に直面してきましたが、昭和五十五年産地振興法による新商品開発も行っておりこの施設を拠点として、いままさに増して意欲的に取り組んでいきたいと考えています。

これからも、市民皆様方のご理解とご支援により、地場産業振興のため努力いたします。

#### 新商品開発に意欲を



留萌水産物加工  
共同組合  
大野市三郎氏

期待していた「留萌市水産加工総合管理センター」が、関係者皆様の熱意によって立派に完成いたしました。

このセンターを、実習、試験分析、研修などを通じ、時代に即応した水産加工技術の改善と開発、加工製品の品質の管理、人材養成など、幅広く利用して頂きたいと願っています。

今後も 行政として、水産加工による地場産業の振興に、一層の効果を発揮し、地域経済の活性化を充実するよう努力していきたいと思っております。

皆様方の御支援と御協力を、お願いいたします。

#### 地域経済の活性化に努力



留萌市水産課  
阿部 新三郎

このセンター建設の目的は、水産物を利用した新製品の開発と、食品添加物の残留濃度、あるいは工場排水の汚染などを事前に調査研究することがねらいです。

留萌市では、昨年四月に、国の水産物流通加工拠点総合整備事業の地域指定を受けて、工事を進めていきましたが、いよいよ今月一日から事業がスタートすることになりました。

広さは、一階が三二八平方メートル、二階が二〇七平方メートル全体では五三五平方メートル（一六〇坪）です。

この施設には、実習室、試験分析室、管理室などがあり、いろいろな試験分析実習機器が整備されています。

当面は、道立試験場などの指導で、水産業界各で行っている加工製品などを科学的に分析し、またこれをもとにより良い製品を開発して、留萌特産の商品を見出し、業界が抱えている多くの問題を解決していこうとするものです。

では、なぜこのような施設（設備投資）が必要なのでしょう。か。いま、留萌市全体の景気は非常に悪化しています。このことは留萌に限ったことではありません。景気をよくしていくためには、い

#### 生産基盤作りに一役

ろいる政策的な処置を施す場合もありますが、やはり強力な生産基盤を作り、地元での生産性向上と加工などの製品化をはかっていくことが大切なことといえるでしょう。

留萌で商品を生み、また、その材料を生かし、加工することによって付加価値を高め、それを他都市へ販売網を拡大していくことが、留萌市全体の経済力を強めることになるのではないのでしょうか。

水産業界が二〇〇カイリ時代という試練を迎えながらも、年間生産額は四〇〇億円にのぼり、留萌市全体の生産額の七〇パーセントを占めているといわれています。

このなかでも、カズノコの生産量は、全国での生産量の五〇パーセントを越えており、このことが留萌市の経済に大きなプラスになっているといっても過言ではありません。

海外からの輸入インシンで、カズノコの加工品として生産していますが、この魚体加工も今後研究していかなければならない問題です。これから、ますます一次産業と二次産業が重要であり、これらの産業が発展することによって、第三次産業の発展につながるわけですから、この施設によって、地元で多量に水揚げされる水産資源の有効利用が期待されます。